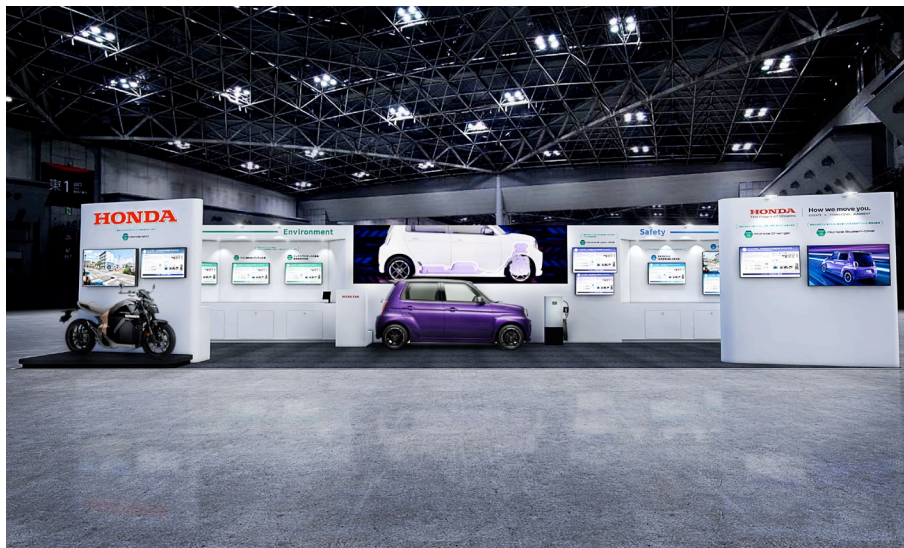


「人とくるまのテクノロジー展 2026」出展概要

Honda は、2026年5月27日（水）から29日（金）までパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）、6月17日（水）から19日（金）まで愛知県国際展示場（愛知県常滑市）でそれぞれ開催される「人とくるまのテクノロジー展 2026」（主催：公益社団法人自動車技術会）に出展します。

リアル展示会に加え、オンライン展示会も用意されており、Honda は両会場に出展します。

2050年の「カーボンニュートラルの実現」と「交通事故死者ゼロ」という Honda の掲げる目標の達成に向けた最新技術を紹介します。



「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」 Honda ブースイメージ

【主な展示内容】

<カーボンニュートラル>

■Super-ONE

グランドコンセプトに「e: Dash BOOSTER（イー ダッシュ ブースター）」を掲げ、車内での体験を豊かにする多彩な仕掛けを採用することで、日常の移動を刺激的で気持ちの高ぶる体験へと進化させることを目指した、Aセグメントの小型EVです。

■Honda Charge, Honda V2H Stand

EVを楽しんでいただくためには、安心かつ簡単に利用できる充電インフラの拡充が不可欠です。充電ネットワークサービス「Honda Charge」は、商業施設や Honda Cars を中心に全国で約300基^{*1}まで拡大しており、日常の買い物や食事の合間に充電できる環境整備を進めています。

さらに、自宅でEVと住宅をつなぐ「Honda V2H Stand」など、家庭内でのエネルギー活用の幅を広げる技術を紹介します。

■Honda WN7

「風になる (Be the Wind)」をコンセプトに、カーボンニュートラル社会の実現を目指す取り組みの一環として開発された Honda 初の FUN 領域向け電動モーターサイクルです。バッテリーケースを車体骨格として機能させる構造により、軽量でスペースレイアウトの自由度が高い車体を実現しました。また、最高出力は排気量 600 cc の ICE (内燃機関) 車相当、最大トルクは 1000cc の ICE 車に匹敵する性能をそれぞれ発揮すると同時に、瞬時のトルクと俊敏なハンドリングを実現しています。

■リソースサーキュレーション技術

資源利用に関する社会課題にも向き合い、モビリティを通して「自由な移動の喜び」を永続的に提供し続けるための取り組みを紹介します。

- アルミ展伸材リサイクル技術
- ミックスプラスチックの廉価・高純度回収技術
- 市中廃材由来リサイクルプラスチック適用技術
- バイオ由来プラスチックを用いた二輪車用塗装レス外装カバー

<交通事故死者ゼロ>

■次世代 ADAS

知能化におけるキーテクノロジーの一端として、カーナビで目的地を設定すると、一般道か高速道路かを問わず、目的地までの全経路において、クルマがアクセルやハンドルなどの運転操作を支援します。今回は、AD (自動運転) 開発で培った認識技術や行動計画技術を生かし市街地も含めて目的地まで安全、快適に走行できる技術を紹介합니다。

■Honda CI 運転支援技術

Honda 独自の協調人工知能「Honda CI (Cooperative Intelligence^{※2} 以下、CI)」を搭載する CI 運転支援技術は、車両に取り付けたカメラを用いて、周辺状況の運転リスクを検出・予測し、そのリスクをドライバーに伝達することで、適切な安全行動を促す技術です。Honda ブースでは、車両の前後に取り付けたカメラから CI が周辺環境の事故リスクを予測するスマホアプリ版と、デバイス一台で周辺環境に加えてインキャビンカメラでドライバーの注視方向を推定し、ドライバーの認知状態に応じて適切な安全行動を促すドライブレコーダー型の 2 つの CI 運転支援技術を紹介합니다。

■安全・安心ネットワーク技術

Honda は、誰もが事故に遭わない交通社会の実現に向け、通信技術の活用により、全ての交通参加者がつながり、共存できる「協調安全社会」の実現を目指しています。今回、Honda ブースでは、路側カメラ、車載カメラやスマートフォンから各交通参加者の状態・特性を把握し、通信で検知した交通環境に潜むリスクをサーバーに集約、総合的にリスクを予測し、リスクが高まりそうな交通参加者へ対処手法を通知、リスクを未然に回避する行動を促す技術を紹介합니다。

■健全化支援技術

ドライバーモニタリングカメラを中心に、表情・視線・体動・運転行動・交通環境などの情報を統合的に解析するとともに、ドライビングシミュレーターで得た知見を組み合わせ、ドライバーの状態そのものを推定。過度な興奮は抑制、低覚醒は喚起することで状態を健全化させ、事故死者削減を目指します。

【「人とくるまのテクノロジー展 2026」開催概要】

・人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA

主 催 者：公益社団法人自動車技術会

リアル会場：パシフィコ横浜

開催日程：2026年5月27日（水）～5月29日（金）

オンライン会場：公式サイト <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/>

公開期間：2026年5月19日（火）～6月9日（火）

・人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA

主 催 者：公益社団法人自動車技術会

リアル会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

開催日程：2026年6月17日（水）～6月19日（金）

オンライン会場：公式サイト <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/nagoya/>

公開期間：2026年6月10日（水）～7月1日（水）

※1 急速充電器が約 200 基・普通充電器が約 100 基

※2 振る舞いや言葉を通じてコミュニケーションを図り、ユーザー・周囲の人と協調しながらユーザーを支える人工知能